

敬老の日、もうすぐ90歳を迎える父親のご機嫌伺いに静岡の片田舎を訪れた。近くに居を構える姉たちが何かと面倒を見ているが、春に連合いを亡くし、今は一人で生活をしている。雨が降らなければ早朝に約1時間の散歩をする。どんなものかと一度ついてまわった。海岸で拾った手頃な流木をつきながら、前を向いて歩いているときは異常と思えるほど規則正しいテンポでとにかく早い。しかし景色に見とれるとツツツとつまずいたり、ふらつとよろける。まだ立ち直れるが、他人が不安を感じるには十分である。こんな父だが、風邪を引きやすく、油断をすると痛風が出る。もともと血小板が少ないにもかかわらず、この8月に電池切れでペースメーカーの取り替えをした。やっと出血がおさまったようだが、とにかく病院にかかることは多い。この父が、これまでは1か月約3000円の外来負担限度額が10月から完全に定率1割負担となる医療改正に強い不安を感じていた。寿命をまっとうするまでの医療費や生活費の蓄えは十分にあるはずなのに、なんで不安なのかと疑問に思い、話を聞くと、自分の子供や孫達の将来の生活に対する不安、今後の日本がどうなるかの不安なのである。よく考えると、超高齢まで生きている人の自己中心的な俗っぽい不安というのを見たことがない。しかし、わが国の将来や、今であれば経済、金融に対してはわがことのように心配するのである。歴史を生きた超高齢者の不安を取り除けないようにと日本の景気は向上かないように思う。

超高齢者とは愛すべき人々である。高齢がもたらすリスク環境の中を生き抜き、多くの親しいものの死を受け入れた人生の達観者である。しかし、遺伝的要素、生活環境、医療環境など多くの幸運が重なったのであろうが、超高齢に至ればやはりそれだけ老化が進む。骨粗鬆症の上にばけが一要因となって転倒した結果は悲惨である。また糖尿病や心疾患などの種々の内科疾患、あるいは難聴や白内障など人生の終焉に向けて多くの問題を抱える。それでも超高齢者は心から愛すべき、サポートしてあげたい人たちだと思う。そんな超高齢者が骨・関節疾患にかかる若人では起こり得ないことが起こる。本特集はそんなことを学ぶ機会として企画した。まずオステオポローシスを種類に分けて詳細な説明、次に超高齢者の骨・関節疾患に対する総合的アプローチとして評価、外科治療について解説をいただいた。また、股関節頸部骨折手術後の理学療法、膝障害の理学療法、脊椎圧迫骨折と脊柱管狭窄症における理学療法を症例を通して説明していただいた。超高齢者を担当する前にぜひとも目を通していただきたい。読者には大いに楽しく学んでいただけたと思う。

入門講座の福祉用具では車いすとシーティング、講座の理学療法倫理ではターミナルケアの倫理がテーマである。その他今月号には Australian Journal of Physiotherapy のレビュー、学校探検隊、理学療法の現場から、プログレス、あてな等多彩なラインアップでお届けできた。この場を借り著者の皆様には改めてお礼申し上げたい。

(高橋正明)

理学療法ジャーナル

(第36巻 第11号)

2002年11月15日発行(毎月1回15日発行)

定価(本体1,650円+税)

[2002年年ぎめ予約購読料 20,280円]
(配送料弊社負担)

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

(担当:平岡・山崎)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2002, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICIS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

上 田 敏
五 味 重 春
津 山 直 一
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
安 藤 徳 彦
内 山 靖 靖
大 川 弥 生
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之 郎
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
菊 地 延 子
木 山 喬 博
工 藤 俊 輔
佐々木 伸 一
佐 藤 剛 一
佐 藤 秀 一
高 口 光 子
高 田 京 子
寺 山 久美子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 尾 哲 男
長 澤 弘 子
永 富 史 基
中 村 春 隆
橋 元 治
濱 出 茂 彦
備 酒 伸 彦
福 田 恵美子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 省 三
諸 橋 勇 彦
八 木 範 彦